

成田赤十字病院における 緩和医療の現状

成田赤十字病院
外科 石井隆之

千葉県在宅医懇話会 2008.2.10

成田赤十字病院の概要

702床、19診療科をもつ急性期病院

地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院などの機能をもつ

平均在院日数：12.5日

病床利用率：93.2%

当院における緩和ケアの歴史

平成12年7月 新病院改築に伴い**緩和ケア病棟**開設(6床)
チームの立ち上げ、院内緩和ケア勉強会開始

平成13年12月 **緩和ケア外来**開設

平成17年5月 **緩和ケア支援チーム**活動開始

緩和ケアチームのメンバー構成

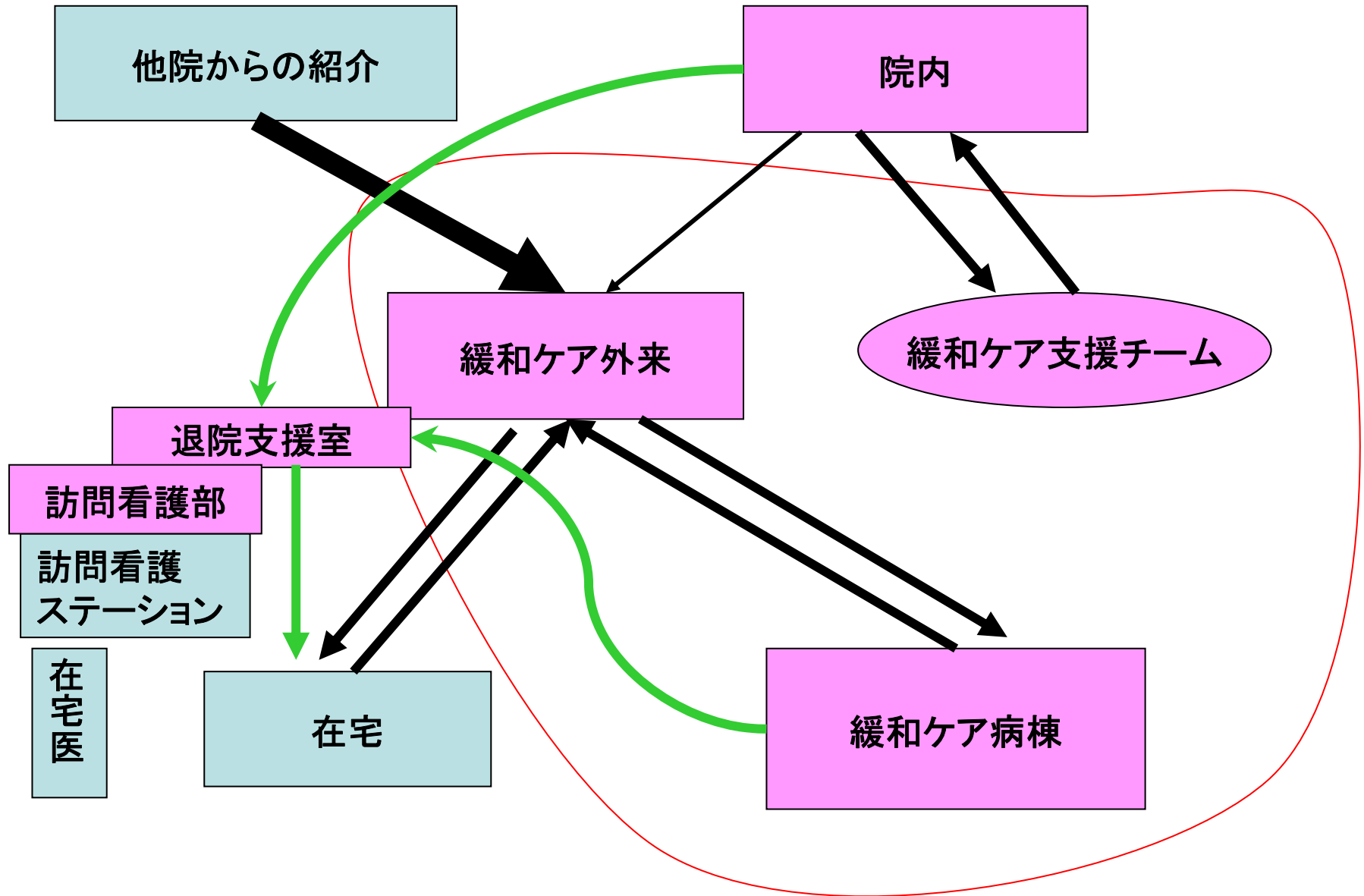
- ・医師 4名
外科医 2名
呼吸器内科 1名
精神科医 1名
- ・看護師（緩和ケア認定看護師） 1名
- ・薬剤師 1名
- ・管理栄養士 1名
- ・臨床心理士 2名
- ・MSW 1名

すべて兼任！！

緩和ケアチームの活動内容

- **カンファレンス**：毎週月曜日15時30分～
緩和ケア病棟入院中患者について
緩和ケア外来：新患の紹介
支援チーム活動の問題症例の検討
- **緩和ケア支援活動**
チームのNs(認定看護師)が中心
週に2回各病棟をラウンド
- **緩和ケア外来**：月・水午後
- **スキルアップ、教育**
院内勉強会(年6回)・特別講演(年2回)

当院の緩和医療のながれ



緩和ケア外来

毎週月・水13時～15時 予約制 緩和チームの医師、看護師が担当

平成18年度(平成18年4月～平成19年3月)の状況

総数	38人	
昨年度からの継続	11人	29%
新規患者数	27人	71%

新規患者紹介元内訳

大学病院	8人	30%
がんセンター	7人	26%
一般病院	5人	19%
その他(クリニック等)	4人	15%
当院	3人	11%

緩和ケア病棟入院患者数

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	
入院患者数(人)	23	24	27	38	40	29	30	26	
転帰	死亡	20	19	17	22	26	23	22	14
	自宅	3	4	10	15	12	5	3	6

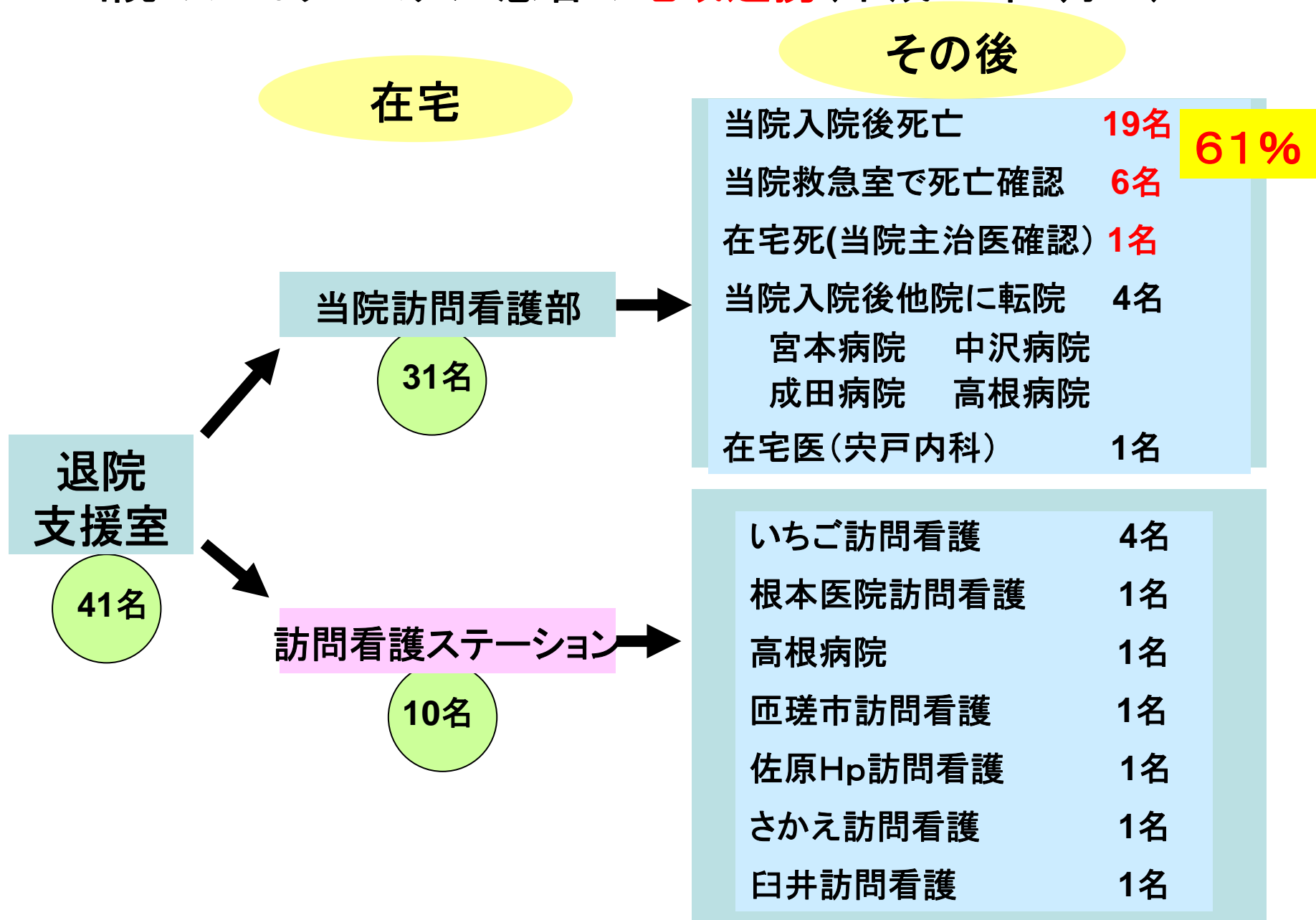
緩和ケア支援チーム活動

	17年度 H17.5~18.3	18年度 H18.4~19.3	19年度 H19.4~19.12
依頼件数	39	22	20

依頼内容

	18年度(%)	19年度(%)
疼痛コントロール	31.3	31.8
呼吸困難コントロール	6.3	9.1
下腿浮腫、リンパマッサージ	15.6	9.1
その他の身体症状コントロール	3.1	13.6
精神症状コントロール	9.4	31.8
コミュニケーション、関わり方	6.3	4.5
オピオイドの使用法、副作用、レス	18.8	0.0
緩和ケア病棟への転科	9.4	0.0

当院のがんターミナル患者の地域連携(平成18年4月～)



症例：82歳 男性 胃癌 主治医 外科

退院支援までの経過＝H. 18年10月胃全摘術を受ける。術後東医院に通院していたが、食事摂取できなくなり紹介で19年9月27日当院外科に入院。末梢から点滴3本/日実施。食事摂取増加してくる。家族と相談し、予後半年程度であり、在宅で点滴を受けながら過ごすこととなり、自宅退院の方針が決まり、10月18日退院支援室に依頼。

在宅療養での問題点＝日中1人になること、診療医師の確保、点滴をしてくれる訪問看護ステーションの確保

退院支援の概略＝ケアマネージャーに連絡をとり、訪問看護ステーションを依頼し、拡大カンファレンスを計画。10月24日カンファレンス実施(主治医・病棟Ns・家族・ケアマネージャー・ヘルパー・訪問看護ST・退院支援室)。点滴は訪問看護STで実施。診察と点滴支持は東医院に依頼。日中家族不在時はヘルパーを依頼して食事介助(視覚障害)、服薬の声かけ、入浴介助など支援することを決めた。10月31日退院。

その後の経過＝在宅になり、食欲も増進し過ごされていた。20年1月9日癌性腹膜炎の悪化で当院外科に入院。2月4日死亡された。

在宅療養の壁

- 往診医が極めて少ない
24時間体制での往診、急変時の対応の不足
- 緩和医療の活用ができる医師が少ない
患者の苦痛が軽減されずに在宅ができなくなる
- 近隣に訪問看護ステーションが少ない
当院訪問看護部も24時間体制でない
- 患者・家族の在宅療養に対する不安
病状の悪化、家族への負担、病院にいれば安心
在宅の理解、受け入れまでに時間がかかり、病
状が悪化して自宅に戻れない

当院における 在宅緩和医療への移行の問題と課題

① 患者急変時におけるバックアップ病床の確保

常に満床に近い状態 : 近隣の病院との連携

② 在宅医の確保

病診連携協議会などで地元医師会と話し合っているが、進展せず
さくら風の村訪問診療所 三嶋先生と面談

③ 在宅医の緩和医療の質の向上

成田地区緩和ケア勉強会(年に2回)

④ 患者・家族(医療者も)の在宅医療に対する啓蒙、意識改革